

I 本校のミッション（使命、存在意義）

120余年の歴史と伝統を持つ津山高等学校と「目指す教育」を共有し、保護者、地域の信頼と期待に応えるため、広い視野と高い志を持ち、社会の発展に積極的に貢献しようとする有為な人材を育成する。

- 校訓「畏天敬人」、校風「質実剛健」「文武両道」合言葉「Be a Challenger」を踏まえ、
- 1 自尊心と愛他精神、校風「質実剛健」を踏まえ、自主自律の精神でたくましく未来を切り拓いていく人間を育成する。
 - 2 常に自らの資質と人格の向上を目指し、生涯学び続ける人間を育成する。
 - 3 特色ある教育活動をとらして将来社会の発展に貢献するための基礎力を育成する。

II 内外の環境分析

A 《内部環境》

- 1 中高一貫教育校の特性を活かし、特色ある教育活動を行うことができる環境にある。
- 2 素直で真面目であるが、長期的な視野に立ち自ら将来を開拓していく力ー VGR ーが発展途上である。

B 《外部環境》

- 1 県北唯一の併設型中高一貫教育校として、地域からの期待が大きい。
- 2 美作地区の児童数の減少が続き、小学校卒業時に一部が県南や県外に流出している。

※ VGR：VはVision「見通す力」、GはGrit「やり抜く力」、RはResearch Mind「探究心」を意味する。

III ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

A 《生徒の姿》

- 1 知識・技能を十分に活用するための思考力・判断力・発信力を有し、他者と協働して問題解決にあたる生徒
- 2 自己理解・他者理解に努め、互いに切磋琢磨する生徒
- 3 心身とも健康で、確固たる信念とGritを有し、自己実現に向けて前進する生徒
- 4 自らの将来を展望し、高い目標を掲げ、自主的・主体的に行動する生徒
- 5 将来、リーダーとして広く地域社会や国際社会に貢献することを目指す生徒

B 《教職員の姿》

- 1 優れた人間性と教養を備え、自らの人格の向上と生徒理解に努める教職員
- 2 教育への情熱と高い専門性を備え、常に教科指導力の向上に努め、関連する学問領域を踏まえた教科の魅力を生徒に伝えようとする教職員
- 3 津山中学・高校のミッションやビジョンを理解し、その実現に努める教職員
- 4 生徒の時間を大切に扱う教職員

C 《学校の姿》

- 1 併設型中高一貫教育校の特性を発揮し、6年間を見据えた質の高い教育を提供する学校
- 2 本物に触れる体験等をとらして、知的好奇心と向学心に満ちた生徒を育成する学校
- 3 明るく、風通し・見通しのよい職場環境の学校

IV 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

Be a Challenger ～可能性への挑戦～を合い言葉に教育活動を行う

1 豊かな人間性を育むために

- (1) 確かな基盤としての人間力の育成
 - ① 基本的な生活習慣の確立
 - ② 人に先んじたあいさつの励行
 - ③ 「気づき」「思いやり」「協働」の心の育成
- (2) 失敗を恐れず積極的にチャレンジしたり、自ら考えて行動する機会の設定
- (3) 1ヶ月に2冊以上の読書量の確保

2 確かな学力を育むために

- (1) 基本的学習習慣の確立
 - ① 「予習＋復習で2時間、自主学習＋読書で1時間」の1日3時間の家庭学習時間の確保
- (2) 生徒の知的好奇心を刺激しながら、自主性・主体性を育成し伸ばす指導の実践
- (3) 教科指導、進路指導、生徒指導、SSH事業における6年間を見通した、生徒のVGRを育成するための教育課程の構築。特にGの伸長を図る工夫を行う。

3 魅力ある学校づくりを推進するために

- (1) 広報活動の充実（ホームページ、学校案内、オープンスクール、学校説明会など）
- (2) 中高連携のさらなる推進
 - ① 「切磋琢磨」の実践及び、取組二年目の成果と課題の検証
 - ② 中高のインタラクティブな関係形成の推進

4 充実感を持って働くことができる職場づくりを推進するために

- (1) 業務内容の見直し検討
- (2) 週1回の18時退校の確実な実施
- (3) 時間外業務時間前年度比－10%（1日30分の業務削減による働き方改革）